

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 遠藤 秀治

第 286 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 26 年 5 月 17 日（土）午後 3 時 00 分より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

【内容】 総合司会 高山赤十字病院 薬剤部 吉岡 史郎

1、 会長講演

『岐阜県病院薬剤師会の活動と方向性について』

岐阜県病院薬剤師会 会長 遠藤 秀治

岐阜県総合医療センター 副院長兼薬剤センター部長

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円

* 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただく運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内
申し上げます。

謹白

記

日時：平成 26 年 5 月 17 日（土）午後 4 時 00 分より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695-2 TEL (058) 296—1200

■製品紹介

「リリカカプセル情報提供」

ファイザー株式会社

■特別講演

座長： 平野総合病院 薬局長 高橋 悟 先生

『緩和ケアと薬剤師について医師が思うこと』

演者： 岐北厚生病院 緩和ケアセンター

センター長 西村 幸祐 先生

※当日は軽食をご用意しております

共催 岐阜県病院薬剤師会
ファイザー株式会社

緩和ケアと薬剤師について医師が思うこと

岐北厚生病院 緩和ケアセンター
センター長 西村 幸祐

(要旨)

「緩和ケアは、患者ががんと診断されたときから開始される」といわれている。が、本来、「緩和ケアは、人が疾患に罹患した時から開始されることは古来行われてきており、ことさらに強調しなくても医療者が行うべき基本的な行為である」というのが私見である。ただ、チームのメンバーが平等な立場でケアにかかわっていく、という発想は、今まで強調されてはいないため、そこに近年の緩和ケアの新しさがあると思われる。そのような流れの中で、薬物治療の専門家である薬剤師の役割は、専門的な知識を駆使した全人的ケアへの貢献であることは言を俟たない。医師として 15 年緩和ケア周辺にかかわってきたが、薬剤師には、薬物治療による症状緩和の評価を医師・看護師とともに行うことに加え、そして患者とご家族の苦しみに、そしてチームメンバーの苦しみに耳を傾けるというコミュニケーション能力を高めていくことが望まれる。調剤や服薬指導で多忙を極める業務であるが、病を持ってしまった苦悩や存在の無価値・無意味に苦しむ患者の前に立たせていただけののが、薬剤師であってもいいと思われる。麻薬の作用に詳しいだけの緩和ケア薬剤師では、苦悩する人への援助者としては十分とは言えないのではないだろうか。それは、医師はじめすべてのチームメンバーにも言えることであるが。

この領域に追い風が続いている中で、このところ上から目線が多くなったと批判されている緩和ケア医の端くれからの思いに耳を傾けていただけたら嬉しく思います。